



# 令和6年度みえの防災特別賞 三重県立紀南高等学校

御浜町

三重県立紀南高等学校は令和3年に東日本大震災の被災地で学ぶ「三重県学校防災ボランティア事業」に同校生徒7名が参加し、3泊4日で宮城県を訪れ、津波被災施設の視察や語り部による講話を聞きました。参加した生徒は、児童や先生が震災直後すぐに裏山に避難し、全員が無事だった石巻市立門脇小学校が、震災後どこからでも見やすい大きな津波避難所への案内板を設置したことに着目し、自校の周りには小さな案内板しか設置されていないことに気づき、避難所を示す案内板、ピクトグラム設置をめざすことを目的に活動を開始しました。

令和5年度は、地元企業や道の駅から提供いただいた協賛品で非常持出袋「防災避にゃんセット」を制作・販売し、その収益を案内板の設置費用に充て、町内の施設に津波避難用案内板を2ヶ所設置しました。また、地元の製菓会社と防災食の共同開発に取り組み、ネーミングやパッケージデザインを同校生徒が行いました。

令和6年度は昨年度からのメンバーを一新し、「地域創造学」選択生13名が中心となって、同校生徒が安全に津波から避難できるよう、①津波避難マニュアルの見直し、②二次避難場所の選定、③最短避難ルートに横断歩道の設置の要望、④避難場所に防災備蓄倉庫の設置に向けた活動、⑤活動メンバーが企画・運営する津波避難訓練を実施しました。

特に、③最短避難ルートに横断歩道の設置の要望については、避難の最短避難ルート上に横断歩道が設置されるよう全校生徒・教職員に署名を求め、地元警察署に要望するなど高校生目線での取組を進めています。

これらの取組は、他地域でも参考になるものであり、今後の活動の発展に期待できるものです。



新しい津波避難マニュアルを  
校長先生に提案する生徒



津波避難マニュアルの見直しにあたり、  
新たに選定した二次避難場所（2カ所）



横断歩道設置を目指す、津波避難  
ルート上の横断歩道



安全を確保するために、  
交通整理を実施する生徒



「防災きにゃんプロジェクト+  
(プラス)」活動メンバー